

2. 事業目的

【対外】

- 1.地域と共に地域が抱えている社会課題の解決のきっかけを作ること、まちに感謝を伝えること。
- 2.地域の方々や行政機関・外部団体との関係性をより強固なものにしていくこと。

【対内】

- 1.70周年の意義を実感できる機会にすること
- 2.「0(ゼロ)周年」の在り方を考える機会にすること
- 3.80周年を担う次世代の人財を輩出すること
- 4.LOMが一丸となり運動・活動・事業を行える体制を構築すること

2-1. 事業目的達成の検証

<イベント実績>

- ①対外 【来場者数】 13,500名 【目標者数】 10,000名
②対内 【来場者数】 228名 【予定者数】 547名 ※家族含む

<アンケート結果>

アンケート回収数：444件/1,672件（回収率：54.0%）

【一般参加者】 252件/1,432名中（回収率17.6%）※スカイランタン一斉打ち上げ応募者

【PTA関係者】 7件/12名中（回収率58.3%）※各小学校PTA会長

【LOMメンバー】 185件/228名中（回収率81.1%）※参加LOMメンバー

アンケート依頼方法：

【一般参加者】 【PTA関係者】 【LOMメンバー】
事業後日、メールにてアンケート記入を依頼

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・全体まとめ

【目的】（対外）

- 1.地域と共に地域が抱えている社会課題の解決のきっかけを作ること、まちに感謝を伝えること。
- 2.地域の方々や行政機関・外部団体との関係性をより強固なものにしていくこと。

質問①/対象者 《一般参加者》

本日のイベントを通じて、福岡青年会議所から街への感謝を感じることはできましたか？

⇒ 《はい》 87.7%（221件/252件）

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・街への感謝

質問②/対象者 《PTA協議会関係者》《一般参加者》

本日のイベントは中央区のPTA協議会さまと一緒に企画させて頂きました。

これまでや当日を通して福岡青年会議所との一体感は感じられましたか？

⇒ 《PTA関係者：はい》 100.0%（7件/7件）

⇒ 《一般参加者：はい》 83.7%（211件/252件）

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・地域との一体感《PTA協議会関係者》

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・地域との一体感《一般参加者》

◎達成できた点

当日は2日間で約13,500名という多くの方に来場していただき、周年にふさわしい規模感の事業となった。中央区PTA協議会の方々や企画段階から一緒に取組み、多くの子どもたちに会場に足を運んでいただき、あるいはPTAの保護者の方々が協力して子どもたちのために動くといった活動を通して、社会課題として

取り上げた「コロナ禍で希薄化した、子どもたちを取り巻く地域コミュニティの活性化」に対して一定の成果をあげることができた。

特に、中央区PTA協議会の方々は小学生の子どもを持つ同世代の親ということもあり、地域への課題認識や考え方を共有することができた。

本番当日まで一緒に活動をすることで一体感を高めることができ、アンケート結果からも同団体との繋がりを強固なものにすることができた。

また、「街への感謝を伝える」という部分では、イベントのタイトル名やステージ企画、スカイランタンへの短冊へ身近な人への感謝を書くという企画内容で一定の達成を得ることができた。

◎達成できなかった点

「街への感謝を伝える」の部分で、来場者が感じることができたのは87.7%という結果だった。

今回の事業は「地域課題の解決＝地域で集まって子どもたちに楽しんでもらう」を通して「街への感謝を伝える」という目的設定としていたため、来場者の100%に「感謝が伝わりきれなかった」ということと考えている。

◎達成できなかった点への改善点

- ・来場者の100%に伝わりきれないことは、別の目的の成果・達成度を削る必要があるのが難しいが、「街への感謝」を理事長・実行委員長メッセージや長文キャッチコピーなどで会場内に表示するとなおよかった。

◎アンケート結果より抜粋

(一般参加者)

- ・すごく良心的なイベントでコロナで夏祭りなども満足にさせてあげられていない子供達にとって一足早く、素敵な夏の思い出を作ることができました。
- ・無料であそれだけのイベントに参加できたことが驚きでした。沢山の方達の方で子供達に素敵な思い出をありがとうございました。
- ・周年事業を子供のための事業にされようという発想と熱量に敬服します。
- ・こんなに凄いのが無料で提供されていてびっくりしたと共に感謝致します。

(PTA協議会)

- ・今まで様々な町・小学校のイベントに参加してきましたが、ここまでの規模は初めてです。本当に素晴らしい経験をさせて頂きました。ありがとうございます。
- ・PTA関係者から「感動した」「素晴らしいものを見せてもらった」「何事を成すにも情熱が必要なんだと改めて学んだ」「私たち保護者も一致団結すれば、もっとできるんじゃないか?!」といった声を多数聞きました。
- ・我々PTAにお声掛けくださり感謝しております。普段は各学校単位で活動することが多く12校が集まり何か事業をすることはなかなかありません。非常に良い経験となりました。2日間子どもたちの笑顔がたくさん溢れており本当にやってよかったと実感しております。

【目的】(対内)

- 1.70周年の意義を実感できる機会にすること
- 2.「0(ゼロ)周年」の在り方を考える機会にすること
- 3.80周年を担う次世代の人材を輩出すること
- 4.LOMが一丸となり運動・活動・事業を行える体制を構築すること

質問①/対象者 《LOMメンバー》

事業を通して、70周年を機会に記念事業を実施する意義を実感できましたか？

⇒ 《はい》100.0% (185件185件)

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・70周年事業実施の意義への実感

質問②/対象者 《LOMメンバー》

事業への参加を通して「0周年」の在り方を考える機会になりましたか？

⇒ 《はい》100.0% (185件185件)

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・「0周年」の在り方を考える機会

◎**達成できた点**

今回の事業は前日設営・当日・後日撤去と、非常に多くの現役メンバーの方々にお手伝い参加をいただいた。延べ200名以上の方に、平日・週末にも関わらず駆けつけていただき、感謝の念に堪えません。

当委員会の準備不足でお手伝いの依頼・現場の指示が行き届かない部分もあったが、率先して動いていただいたことで当委員会が手の届かないところや予定時間を大幅に繰り上がるなど良い部分が多々あった。

準備については、お手伝いスタッフ用の資料作成に掛かる時間を十分に確保し、事前にて展開しておくべきだった。

添付資料：【0609】設営当日用 運営マニュアル（抜粋）

アンケートの結果では、概ね、節目の年の事業に関わっていただいたことで、多くのLOMメンバーに「なぜこれだけの予算規模で周年事業を実施する必要があるのか」「何のために0周年事業はあるのか」を考えるきっかけになった。

◎**達成できなかった点**

事前のお手伝い参加者用会議を実施することで、当日のオペレーションの話だけでなく、周年の意義やあり方を伝える機会を持てたが実施ができなかった。

◎**達成できなかった点への改善点**

・事業の準備段階での時間不足、人員不足を解消するとよかったが、周年規模の事業では難しかった。

3. 事業対象者

【1】事業対象者（対外）

◇**来場目標者数：10,000名（※6/10 7,000名、6/11 3,000名）**

スカイランタン1,500個の打ち上げに対して3,750名の集客見込み

①福岡市中央区の各小学校生徒とその親

草ヶ江小学校	938名	/	赤坂小学校	500名	/	小笹小学校	827名
警固小学校	650名	/	笹丘小学校	636名	/	高宮小学校	468名
当仁小学校	558名	/	春吉小学校	157名	/	平尾小学校	1,117名
福浜小学校	179名	/	舞鶴小学校	823名	/	南当仁小学校	772名

※2022年度現在の生徒数で算出

中央区の小学生	合計	6,975名
親御さんの数	合計	13,826名

来場目標者数1 合計 4,240名

■来場者数1の計算方法：

福岡市中央区の小学校在校生(2022年度ベース)を算出し、

福岡市調査の平均世帯数の比率2.16とひとり親世帯の割合を合わせて算出

②JCI福岡シニアメンバーとご家族

過去10年に卒業された先輩方

2012～2022年度 400名（※）

ご家族 800名（※）

来場目標者数2 合計 480名

③一般の来場者

舞鶴公園・大濠公園の会場周辺を訪れている方の立ち寄り

土日平均 2,002名

来場目標者数3 合計 1,233名

④一般の来場者

福岡市の世帯数 376,637世帯

来場目標者数4 合計 3,500名

【2】事業対象者（対内）

JCI福岡正会員 / 仮入会者

JCI福岡正会員 292名/292名（22年9月度仮入会26名含む）

23年1月度仮入会者 名/名 ※現時点で不明確のため含まず

合計 292名/292名

現役メンバー参加 218名

そのご家族 329名

来場目標者数5 合計 547名

3-1. 事業対象者の参加実績と事業対象者に関する検証

<事業対象者 参加実績>

①対外 【来場者数】 13,500名 【目標者数】 10,000名

②対内 【来場者数】 228名 【予定者数】 547名

◎総括

当日は2日間で約13,500名という多くの方に来場していただいた。

目標を大幅に超え、周年にふさわしい規模感の事業となった。

一方で、これだけの集客イベントは過去の事業でも類を見ず、当委員会も経験が乏しい（特に無料イベント）面もあり、特に「緑日コンテンツ」における想定以上の来場者数と、それに対応するオペレーションの想像が追いついていなかった。子どもを対象とした「無料」のイベントは今後も事業等で実施される可能性もあり、特にクレームを回避する綿密なオペレーションが必要であることを改めて引き継ぎ事項として残しておきたい。

◎検証① 来場者数について

全体の来場者数が目標数を超えた要因を以下と分析した。

○イベント当日の開場前から「緑日コンテンツ」「スカイランタンの参加および鑑賞」を目指して多くの列ができた

○「緑日」は“参加無料”ということが、絶大な集客につながった。

事業前より舞鶴公園やPTA関係者からも「緑日の集客力はすごい」と聞いていたが、ここまでの予想ができなかった

○メインの「スカイランタン」は1,500個と数に限りがあったが、以下の工夫で参加しない方も来場に繋がるように工夫した

1.スカイランタンの事前抽選で申込できなかった方に、HPやSNS、メディア等で「当日受付」を案内することで、会場に足を運ぶ理由をつくった。

2.同じく、HPやSNS等で「スカイランタンの一斉打ち上げに参加できなくても、当日、会場での鑑賞は可能」と告知

○テレビ番組での告知において、RKB毎日放送やKBC九州朝日放送で各種パブリシティ（無料枠）を提供いただけたこと

で、

集客につながった

○キッズパフォーマンスステージの企画で、地域のダンススクールなどを中心に声掛けしたことで、出演者の親族や友人が観覧に訪れる効果を引き出すことができた

<参加者数・実績>

2日間 13,500名

◆6/10(土)：1日目

○スカイランタン参加者 1,500組(平均3名として、) = [4,500名]

○AM/夕方の縁日参加者

(予算8万円/お菓子単価@20円=4,000個のうち1日目7割) = 延べ2,800名の子ども(+大人平均2名として、) [8,400名]

○観覧者(ステージ観覧含む) 200名程度

◆6/11(日)：2日目

○縁日参加者 1,200名

○観覧者(ステージ観覧含む) 100名程度

◎検証② 来場者満足度について

アンケートの結果から、今回のイベントを通じて概ね当イベントに満足いただくことができた。一方で、スカイランタンの受付や安全性に関わる部分、縁日の炎天下の行列などクレームもあった。(詳細は以下の事業概要の報告・検証で記述)

質問③/対象者《一般参加者》

本日のイベントを通して満足度を教えてください

⇒《一般参加者：はい》 88.9% (224件/252件)

添付資料：【報告】参加者向けアンケート・満足度

事業概要

1. 決算総額

9,577,513円(収支報告書)

1-1. 決算に関する特記事項

特になし

1-2. 予算・費用対効果の検証

(検証)

■スカイランタン一斉打ち上げ《総費用：4,041,400円》【費用対効果：○】

・・・総予算の約41%をかけたメインコンテンツのスカイランタンだが、下記の点で費用対効果があった

①6/10(土)1日だけの実施だったが、スカイランタン一斉打ち上げ参加者並びに鑑賞者で約9,000名の集客に繋がった

②通常、スカイランタンイベントは、ハウステンボスや屋内施設で『有料イベント』として開催されている。

今回、『無料招待』という形で打ち出したところ、1,500個の上限数に対して、応募受付開始後1週間で予定数量に達し、以降も応募が絶えなかったほど反響が大きかった

③「日本最大級1,500個のスカイランタンを、舞鶴公園の夜空に一斉打ち上げる(数量限定：無料招待)」というインパクトがあり、初めての実施でもイメージを持ちやすいアイデアの旗を立てたことで、PTA協議会や行政をはじめ関係各所の協力を得やすく、事業の規模拡大に繋がった

④同じく、メディアの事前告知枠だけでなく、事後にテレビ番組の特集（福岡青年会議所の周年事業に当日密着）を取り付けることにも繋がった。

■緑日コンテンツ《総費用：300,000円》【費用対効果：◎】

・・・総予算の約5%程度だが、「子ども参加無料」としたことで大きな集客と満足度に繋がった。2日間ともに常時長蛇の列ができ、オペレーションの不備からクレームは多かったものの、アンケート結果からも子どもたちが楽しんでいた様子やまた来年もやってほしいなど好意的な意見を多く集めたので、非常に費用対効果が高かった

■竹灯籠アート/エントランスゲート《総費用：1,760,000円》【費用対効果：○】

・・・SNSでスカイランタンとともにアップされていた。周年を彩るオブジェとして有用だった。

2. 実施日時

日時 2023年月6月10日(土) 11:00~21:00
2023年月6月11日(日) 11:00~16:00

※メインイベントのスカイランタン打ち上げと光と音の演出は6月10日(土)のみ

添付資料：事業全体スケジュール

添付資料：事業各タイムスケジュール（改定）

3. 実施場所

舞鶴公園・三の丸広場 特設会場
(福岡市中央区同城内1-4)

添付資料：会場全体レイアウト（改定）

《会場選定理由》

『舞鶴公園』は福岡城址として観光客の方々や、大規模なイベントなどが主催されており、また、『大濠公園』は主に親子連れの散歩やランニングコース、美術館を利用する方々など、落ち着いた雰囲気を目的として利用されています。

70周年記念事業で地域の皆様と大規模な『地域のお祭り』を作っていくにあたり、福岡市民が『一生の思い出に残る』イベントを開催するために、広さ・安全面・アクセス面を考慮して舞鶴公園・三の丸広場を選定しました。

4. 外部協力

【後援】

福岡市

【協力予定】

福岡市PTA協議会

福岡市中央区PTA会長の会

福岡県 建築都市部 公園街路課

福岡市 公園部 みどり運営課/みどり活用課

九州・博多こだわり飲食の会・ICOO会（イコー会）

具体的には、スカイランタン本機組み立ての準備フェーズやクリーンアップ大作戦の実施において体制づくりをおこないます。

添付資料：当日のタイムスケジュール（改定）

添付資料：役割分担資料

添付資料：当日配布 A4折(A5仕上がり)パンフレット

アンケート結果より、総じて満足度のポイント自体は高く、次回の開催を望む声などポジティブなコメントが多かったが、同じくらい「次に期待する意味を込めて・・・、」という文脈でクレームや改善を望むネガティブコメントが多かった。以下、主なコメントをポジティブ部分(□)と合わせて、ネガティブ部分(■)を中心に掲載する。

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子

<ポジティブコメント>

□楽しい企画をありがとうございました。大変な準備にご尽力感謝です

□PTA協議会様を始め、多くの地域団体の方と連携された素晴らしい事業でした。街に人に、感謝は繋がっていると思います。

□これまでコロナで息苦しい生活でしたが、コロナ開けに子供はもちろん、大人も楽しめるイベントを開催頂き非常に有り難かったです。是非、毎年お願いしたいです。

<ネガティブコメント>

■参加申し込み→当選後、当日の駐車場や受付場所の案内など、詳細が全くわからないままでした。

当日会場に行ってみてからも、縁日の参加方法やステージプログラム、ランタン打上場所はスタッフに聞かないとわからない状態で、結局縁日の参加チケットも手に入らず、お店はどこも大行列で子供を連れても/待たせても並べず、レジャーシートを広げる場所も制限され、空いてるスペースからはステージや案内の音声はまったく聞こえず、わざわざ遠くから参加した甲斐がなかったです。

■ランタン配布から打上時間までが長過ぎて、子供たちは待ちきれず、飛んだり割れたり雨で濡れたり。

そして、ランタンを持ったままの移動やトイレも大変だったので、打上直前(30分前ぐらい)の配布でよかったかも。

■私は地下鉄大濠公園駅側の芝生にいたのですが、一斉リリースのカウントダウンなど(はあったのでしょうか?)も何も聞こえず、

周りの方がパラパラと揚げ始めたのを見て、もう揚げていいんだという判断をしました。

会場の広さに対して参加人数・ランタン数が多過ぎて、ランタン同士が絡まったり人に当たったり、雨で濡れて浮力が弱かったり、なんとも残念な結果になりました。

子供たちには色々我慢をさせたり待ちくたびれたり、雨に濡れたり、かわいそうだったかな一つと思いました。

=====

■反省点・ネガティブコメントへの改善点は、下記のコンテンツごとに記載

=====
事業コンテンツ① 中央区PTA協議会と共創する『昔懐かし縁日』
=====

地域コミュニティが抱える課題（PTA活動の担い手不足）を解決するきっかけとなる事業を、当事者である中央区PTA協議会の皆様と共に企画・運営をします。

内容としては、中央区のPTA協議会のうち有志の学校区が主体となって『昔懐かし縁日ブース』を出店します。中央区PTA協議会の皆様と協議を進めて決めた、飲食ブースやヨーヨーすくいなどの縁日コンテンツ全6ブースを地域の

PTA協議会の方々が主体となって運営し、地域に住む方々の参加やコミュニケーションを生み出していきます。

また参画してくれた地域の皆様には事前に子どもたちが無料で利用ができる『縁日無料チケット』を配布します。当日参加してくれた子どもたちにもチケット配布します。

【1】参加する中央区の各小学校PTA協議会と、事業に向けての協力体制

■中央区PTA協議会：参加小学校

高宮小学校・草ヶ江小学校・小笹小学校・福浜小学校
警固小学校・赤坂小学校・春吉小学校・当仁小学校

■中央区PTA協議会：推進窓口

草ヶ江小PTA協議会・会長 勝野 晃 様
赤坂小PTA協議会・会長 後藤 様（中央区PTA協議会長）

■中央区 小学校校長会：推進窓口

草ヶ江小学校 校長 池田 昌弘 様

添付資料：中央区PTA協議会 学校区 一覧

【2】縁日ブースの出展内容

中央区PTA協議会で5つの縁日コンテンツブースを出展します。

縁日の出展内容は以下となります。

- ①ホットドッグ出店（1枠） ②わたがし（1枠） ③射的（2枠）
- ④水ヨーヨー（1枠） ⑤輪投げ（1枠）

ブースの運営（人数やシフト等）については基本的に参加小学校のPTA親御さん方で話し合って決めて頂きます。PTA協議会のヒアリングで、地域のお祭りで人気なやきそばや射的はブースを広く配置して、多くの子どもたちが遊べるようにします。

射的は景品を用意しており、倒したお菓子を持ち帰ることができます。

また、運営サポートとして、各ブースごとにお手伝い頂くJCメンバーを常時1名ずつ配置します。

[6名/1時間]

※各委員会2名以上のお手伝いをお願いします。

※事業の2週間前にオンラインにてお手伝い説明会を実施します。

※対象者：各委員会 委員長/副委員長/拡大総括幹事

飲食で使用する鉄板などの調理器具やゲーム機器などのハード面はJC側で費用を負担します。

焼きそばのみ有料販売としますが、食材などに掛かる部分はPTAに負担して頂くため、収益もPTAで管理します。

添付資料：「昔懐かし縁日」コンテンツ一覧

添付資料：「昔懐かし縁日」お手伝いメンバー シフト一覧

【3】各縁日の子どもたちの参加方法

会場を訪れた子ども達は、誰でも受付をすれば無料で②わたがし③射的④水ヨーヨーの縁日を楽しむことができます。

受付でアンケートに答えてもらうことを条件として3枚綴りのチケットを1枚渡し、会場内の縁日に参加することができます。

対 象：小学生以下

受付場所：会場内縁日ブース付近の受付ブース（改定）

確認方法：受付での声掛け

チケットは3枚綴りとなっており、
わたがし/射的/水ヨーヨー/輪投げ
のそれぞれの縁日ブースで、3つまで選んで使うことができます。

また、射的とわなげについては、ミッションをクリアすると各日ともに先着400名ずつ、景品をプレゼントします。

添付資料：縁日無料チケット及び参加方法

【4】ブースを運営するPTA役員及びお手伝いする親御さんが安心して望めるケア体制

中央区PTA協議会との話し合いの中で、会場が誰でも自由に出入りできる仕様となっているため、子どもさんが目の届かないところに行かないかなどが心配という声がありました。

子どもたちが遊べるエリアまわりを巡回する役割のスタッフを増やし、見回り機能を強化します。

◎当日の変更点

無料券配布方法の変更：

縁日ブースで5枚つづりの無料券を配布するようにしていたが、オペレーションが人員不足や案内不足でクレームが多かったため、

2日目からは「無料券なしで、お菓子がなくなり次第終了」に変更した

◎検証

子ども向けに縁日を無料で楽しめる計画にしており、大きな集客に繋がった反面、無料券の配布方法や行列の整理方法について反省すべき点があった

(◆反省点：◇改善点)

◆縁日のチケット配布オペレーション計画が甘く、炎天下の中で行列ができてしまったり、参加方法の周知が徹底できず、クレームが出てしまった

◇「無料」の集客力を事前に認識し、分かりやすいルール・オペレーションを事前周知または、当日案内サインで謳うべきだった

例：案内サイン「無料チケット配布場所はこちら」「最後尾はこちら」などを大きなサイズで設置・手持ちを準備

◆縁日に大行列ができ、飲食ブースへ来場者が流れなかった。

◇一定数の人数が並んだ場合は受付を止めるなど、事前にルールを明確にすべきだった

◆こどもが予想以上にたくさんくることを想定しきれていなかった

◇当日バタバタ買い出しにいたりしていたので、調整すべきであった

当初想定：4,000名程度 実際人数：7,000名程度 対応策：景品を単価をさげ追加・2日目にチケット配布ルールを廃止
対応

◆縁日のかき氷とわた菓子の欠品により、長時間待たせてしまう状況になった。

◇在庫確認と売り切れのポイント(時間や提供数)を決めておくべきだった

▶「縁日チケットのもらい方がわからなかった」の対策として、よっぽどの理由がない限り配布しないほうがよい。

配布するなら炎天下の行列で熱中症対策をするために、参加可能時間を書いたチケットを数量コントロールして渡すほうがよい。

また、アンケート結果の主なコメントをポジティブ部分(□)と合わせて、ネガティブ部分(■)を中心に掲載する。

<ポジティブコメント>

□無料で縁日やスカイランタンに参加出来たのは大変有難かったですが、特に縁日は待ちがかなりの大行列になっていたためお金を多少とってもいいのかなと感じました。

<ネガティブコメント>

■子供達が縁日に参加したかったのですが終了していたのが残念でした。

■無料で縁日やスカイランタンに参加出来たのは大変有難かったですが、特に縁日は待ちがかなりの大行列になっていたためお金を多少とっていいのかなと感じました。

■縁日は、チケット制であることを知らず、行った時には配布が終わっていて子どもは残念がっていました。

■縁日についてですがこれだけの規模で開催するに当たり子どもたちの参加や大まかな人数は予想できたと思います。ですが、行ってみて縁日がチケット制になっていたり景品切れで出来なかったり、射的に関してはテントには1人5発まで

と

あったが3発しか打てず聞いて見れば「人が多く、制限している」と。

であればすぐに5発までを3発までに書き換えておくべきです。

子供は直前まで5発チャンスがあると思っておりとても悲しそうでした。

■縁日チケットの買い方がわかりませんでした。

全体的に行列が長かったので、店舗を増やすなどしてもう少し混雑が緩和されると嬉しいです。

=====

■反省点・ネガティブコメントへの改善点

・無料縁日の集客力を正しく認識し、運営オペレーションを綿密に組む必要があった。

↳策定内容：参加ルールの策定・行列の際のオペレーション

=====

《事業コンテンツ②》 JCI福岡クリーンアップ大作戦の実施

=====

『西日本大濠花火大会』が中止となった理由のひとつとして、近隣住民の方々からの苦情がありました。

騒音問題などと合わせて、イベント後のごみの散乱が大きな問題となっていたようです。

また、近年、舞鶴公園で開催されてきたイベントで芝をダメにしまい、以降、開催ができなくなったイベントもあるとのことでした。

当事業は来場していただいた皆様から「また開催してほしい」と言ってもらえるように、

また、福岡青年会議所の事業に今後も地域や行政の方々にご協力してもらえよう、事業後の清掃活動まで地域の皆様と共に取り組みます。

■実施日：2023年6月11日(日) 16:30~17:30 ※2日目

《参加者について》

基本的にはLOMメンバーの皆様にお手伝いを頂いて、福岡青年会議所として実施します。

執行部から3名、各委員会へ2名のお手伝いを依頼し70周年実行委員会を中心となり行います。

16:00のイベント終了後、ステージ付近に対象者に集まって頂き、掃除道具を渡して会場内を清掃してもらいます。

《クリーンアップ大作戦 道具の手配について》

舞鶴公園管理事務所に協力を頂いて清掃道具をお借りします。

◎検証

多くのお手伝いスタッフに協力してもらい、ゴミ拾いローラー作戦で綺麗にゴミなどを除去できた

子どもたちを巻き込んだ清掃については、PTA関係の親御さんたちが撤収・片付けに追われていて不十分だった

(◆反省点：◇改善点)

◆ゴミ拾いローラー作戦時に、一般参加者が打ったテント杭が残っていたままになっており、

公園管理事務所からクレームがあった

◇【主催者で設置したものではないので不可抗力と思うが】

ローラー作戦時に杭が残っているのは見つかったいたので、情報を吸い上げるべきだった

=====

■反省点・ネガティブコメントへの改善点

・子どもたちを巻き込んだ清掃活動は、事前に「子ども清掃ボランティア募集」をするなどし、共通ビブスなどを準備するなどイベント化するとよかった。

~~~~~

■集客コンテンツ① ■ 食で福岡を盛り上げる地産地消フードコート

~~~~~

一般の参加者の方も楽しんで頂けるように、過去に2日間で6万人を集客した実績をもつ食イベント『居酒屋大サーカス』福岡実行委員会を運営するICOO会(イコー会)協力のもと、総勢20店舗のフードコートを展開します。

老若男女問わず利用いただけるフードやドリンク、お酒はもちろん、福岡県産にこだわった地産地消をテーマにしたイベント限定メニューを準備した福岡の人気店舗が出店します。

添付資料：『フードコート』企画・ICOO会との連携

《地産地消フードコート 出店数》

ICOO会に所属する飲食店を中心に、全15ブースが出店します。

テントでの飲食提供・キッチンカーの候補店舗の中から当実行委員会とICOO会で選定します。

《地産地消フードコート 出店者》

■テントブース

- ①肉のだるま (アトモスダイニング) ▶地鶏の炭焼き
- ②大衆焼肉 日赤通りのたまや (キャブテンダイニング) ▶焼肉弁当
- ③串と豆皿 とらみ (C.F.C.company) ▶自家製いちじくバター
- ④はかた風土 (ウィナー) ▶博多ぐる皮巻き串
- ⑤鶏と瓦はつかなる (officene) ▶フライドチキン
- ⑥もつ鍋 一藤 (Willing hands) ▶博多一口餃子・豚ハラミ鉄板
- ⑦U.Ni coffee (unity) ▶スパイスカレー
- ⑧麺や59 (スリーズ) ▶博多とんこつ汁なし坦々麺
- ⑨博多ほたる (OBU Company) ▶焼ガキ
- ⑩ICOO会ドリンク ▶アルコール/ジュース等

■フードトラック

- ⑪SOUP TRUCK (Thinking for) ▶スープ・サラダ
- ⑫Today (トゥデイ) ▶ホットドッグ
- ⑬DAIMYO SOFT CREAM (EFM) ▶ラムネソフトクリーム
- ⑭焼きたて屋 (ウィナー) ▶たい焼き/たご焼き

添付資料：飲食ブース・出店者リスト

《地産地消フードコート 会場レイアウト》

フードコートは舞鶴公園・三の丸広場の名島門・大濠公園側の遊歩道をメイン入口として、中央までの導線をつくり、それに沿って飲食テナントを並べます。

1テントのサイズは約3.6m×5.4m（2間×3間）で、1テントにつき2店舗が出展します

《ICOO会との連携メリットについて》

運営は2020年で創立20周年を迎えた飲食団体『ICOO会』と連携の形とします。

今回、当会の70周年を応援する形でICOO会が協力してくれるため、飲食会場に掛かる費用は全体の3/4程度を、ICOO会が負担してくれることとなっています。

我々が独自で飲食コンテンツを設営するよりも大幅にコストを削減でき、さらに飲食クオリティの充実と集客力をメリットとすることができます。

添付資料：フードコート 会場レイアウト

◎ 検証

1日目は時間帯で飲食フードコートの集客に差があったが、結果としては8割方の店舗が売り切れとなったメニューが大人向けが多く、子どもが食べやすいメニューが少なかったとの声が多く聞かれた

ICOO会から応分のイベント設営費用を負担いただいたことで、大きな費用対効果となった

また、アンケート結果の主なコメントをポジティブ部分(□)と合わせて、ネガティブ部分(■)を中心に掲載する。

- 飲食のお店が数が少なく、ものすごい行列だったので、お腹をすかせたこどもを持つ親としてはそこが大変でした。
- 子供向けのイベントにしては出店飲食店のメニュー内容は子供向けメニューが少なかった
- 飲食のお店が数が少なく、ものすごい行列だったので、お腹をすかせたこどもを持つ親としてはそこが大変でした。

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（飲食フードコート）

=====

■ 反省点・ネガティブコメントへの改善点

・子ども向けのイベントということ踏まえ、今後はメニューの内容を出店前に飲食チームと検討したほうがよい。
緑日の子ども集客効果を読み切れず、結果、日中は飲食店の売り上げが悪かったが夕方から夜にかけて伸びて半数以上が完売となった。

■ 集客コンテンツ② ■ 空間を彩る竹あかりゲート&オブジェイルミネーション

舞鶴公園の会場エントランスに【竹あかりゲートと竹あかりオブジェ】を作り、会場全体のアクセントとして彩を加えます。イベントを目的に来園された方以外の注目を集め、会場の中へと誘因するコンテンツとします。

会場内にはJCI福岡のロゴを印字した提灯を使ったオブジェでお祭りの雰囲気を作ります。
また、ご協賛いただいた企業名を書いた提灯を飾る土台は竹あかりで制作し、空間演出の一部とします。

竹あかり総合プロデュース集団『CHIKAKEN』のプロデュースのもと、社会問題として福岡でも増加している『放置竹林』の竹を使用し、事業終了後は土に返すまでを目標とします。

添付資料：竹あかりプロデュース『CHIKAKEN』実績

添付資料：竹あかりゲート イメージ（実績）

添付資料：竹あかりゲート イメージ（スケッチ図）

◎ 検証

多くの方が携帯で写真を撮ったり、SNSに挙げていたため、周年事業のオブジェとして有用だった

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（竹灯籠アート）

=====

《集客コンテンツ③》 キッズパフォーマンスステージ&スカイランタン打ち上げカウントダウンイベント

=====

事業開催2日間のステージコンテンツとして、地域の子供たちを中心としたダンスやストリートなどのパフォーマンスを披露するステージを展開します。（改定）

《キッズステージコンテンツ：2023年6月10日(土)～6月11日(日)》

6月10日(土)

- ・ EXPG STUDIO FUKUOKA / キッズダンスパフォーマンス
- ・ 小学校対抗戦
- ・ フードブースPRタイム
- ・ お笑いトリオだんごばーな / お笑いステージ
- ・ 小笹小学校 / バトンパフォーマンス

6月11日(日)

- ・ avex academy fukuoka/ キッズダンスパフォーマンス
- ・ EXPG STUDIO FUKUOKA / キッズダンスパフォーマンス
- ・ 新極真会 少年部演武
- ・ DANCE STUDIO JFH / キッズダンスステージ
- ・ 福浜小学校 / キッズダンスパフォーマンス
- ・ 赤坂小学校 / BMXパフォーマンス
- ・ 笹丘小学校 / ダンスパフォーマンス

を開催し、地域の子どもたちを中心にファミリー層を巻き込んだコンテンツで盛り上げます。

添付資料：ステージコンテンツ紹介（改定）

添付資料：ステージコンテンツ タイムスケジュール（改定）

添付資料：ステージコンテンツ：EXPG STUDIO FUKUOKA出演契約書（新規）

※リーガルチェックを《伊達法律事務所》へ依頼し、内容に問題ないことを確認しております。

■全体MC / だんごばーな まるお&ジョージ（お笑い芸人）

添付資料：プロフィール（全体MC） だんごばーな | お笑い芸人

また、初日のスカイランタン打ち上げ時に、ステージでカウントダウンをおこないます。

打ち上げに参加していただく方々へ、受付後～スカイランタンのお渡しから打ち上げまでの間、アーティストライブで会場を盛り上げます。

またスカイランタン受付が終われば打ち上げ前までは参加者は会場内は自由に行き来することができます。

招待するアーティストは福岡出身の現役メンバーの同世代の方を選定しました。

《カウントダウンプログラム：2023年6月10日(土)》

【オープニングライブ】

- Haru.Robinson ミュージックアコースティックライブ
- 中山エイジ ミュージックアコースティックライブ

【主催者挨拶】

- 一般社団法人福岡青年会議所 理事長 前川 裕貴

【LEDスカイランタン打ち上げカウントダウン】

- カウントダウンMC / RKBアナウンサー 武田伊央

添付資料：カウントダウンMCプロフィール 武田伊央氏

【イルミネーションミュージックライブ】

- Haru.Robinson ミュージックアコースティックライブ
- 中山栄嗣 ミュージックアコースティックライブ

添付資料：アーティストプロフィール Haru.Robinson

添付資料：アーティストプロフィール 中山栄嗣

添付資料：講師依頼状 Haru.Robinson

添付資料：講師御礼状 Haru.Robinson

添付資料：講師承諾書 Haru.Robinson

添付資料：講師依頼状 中山栄嗣

添付資料：講師御礼状 中山栄嗣

添付資料：講師承諾書 中山栄嗣

添付資料：講師依頼状 武田伊央

添付資料：講師御礼状 武田伊央

添付資料：講師承諾書 武田伊央

■ ステージタイムスケジュール

17:30～ LEDスカイランタン カウントダウンステージ

MC RKBアナウンサー 武田伊央 登壇

福岡青年会議所 理事長 前川 裕貴

中央区PTA協議会 会長 後藤様

17:45～ ミュージックライブ / 中山栄嗣

18:25～ LEDスカイランタン 受け渡し受付開始アナウンス&実況

19:20～ 会場内随時消灯 / 一斉打ち上げ準備

19:27～ カウントダウンスタート

19:30～ LEDスカイランタン一斉打ち上げ&BGM

20:00～ ミュージックライブ / Haru.Robinson

20:45 クロージングトーク・70周年記念委員会 田原委員長挨拶

21:00 お客様・完全撤収

◎ 検証

地域の子もたちのダンススタジオなどを中心にキャストिंगしたため、親御さんや親せきの方々などの集客を呼び込んだ

また、子どもたちに大きな舞台でのパフォーマンスの場を提供してあげることができた。
ステージ運営はおおむね大きな問題はなかったが、公園ルールに夜「音量規制」がありスカイランタン時や迷子の案内など重要な場面での不具合があった

（◆反省点：◇改善点）

- ◆「音楽、マイクの音量制限があった
- ◇迷子アナウンスが会場全体に届かず人員を割く結果になった
スカイランタン打ち上げ時など注意喚起が行き届かなかった

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（ステージコンテンツ）

=====

■ 反省点・ネガティブコメントへの改善点

◆ 会場である舞鶴公園の音量規制について

・舞鶴公園は街の中心部にあり、近隣に住宅が多く、騒音に対するクレームに敏感である。
音量規制については事前に通達を受け、イベント会社・音響会社と既定内のデシベル数値をシミュレーションし、2日間とも規制内で通して騒音クレームもなかったが、上記の通りスカイランタンや緑日の案内アナウンスが届かないなどの負の部分の浮き彫りになった。
今後、舞鶴公園で事業を実施する際には各ポイントのデシベル数値基準は守りながら、スピーカーの数を増やし、どこにいてもある程度聞こえるような配置をすることが必要である。

=====

《集客コンテンツ④》 身近な人への感謝をスカイランタンに込めて

=====

コミュニティーの最小単位は家族です。
地域コミュニティーの基礎には家族への感謝や良質なコミュニケーションが必要不可欠です。
普段は恥ずかしくて伝えられない感謝の気持ちも特別な機会であれば伝えられるのではないのでしょうか。
子どもたちが、1,500個のスカイランタンに身近な人(家族や兄弟)への感謝の気持ちを書いた短冊を載せて、一斉に、舞鶴公園の夜空へ放ちます。

上空を覆うように浮かぶ1,500個のスカイランタンは非常に幻想的で、親子連れや若い人々の心に思い出に残ります。
なお、1,500個のスカイランタンを同時に打ち上げるのは日本初で最大規模となり、強い集客コンテンツとなります。

■ 実施日：2023年6月10日(土) ※1日目

添付資料：スカイランタン1,500個・打ち上げイメージ

《スカイランタンとは》

スカイランタンとはタイや台湾のお祭りで使用される小さな熱気球です。
今回の事業で使用するスカイランタンは、『火』を『LED』に変え、安全に楽しむことができます。

また、糸を付けて空に浮かべ完全回収を行うことから、環境に配慮した仕様となっております。

【1】 LEDスカイランタン 参加者及び参加方法について

スカイランタンの打ち上げに参加する方は以下の方々になります。
基本的には小学生とその保護者が1組となり、参加してもらいます。

- 中央区PTA協議会で事業に協力してくれた子どもと保護者・・・1,050組
- ステージコンテンツへ参加してくれた子どもたち・・・50組（先着）
- LOM現役メンバーの親子・カップル参加希望者・・・150組（先着）
- LOM・シニアメンバーで親子参加希望者・・・100組（先着）
- ICOO会の親子参加希望者・・・・・・・・・・30組（先着）
- 一般の方の参加希望者・・・・・・・・・・100組（先着）
- 予備枠・・・・・・・・・・20組

※小学生の数の算出根拠：小学生数のうち15%の参加目標

また、打ち上げに参加されない方々でも、フードコートや芝生エリアから幻想的なスカイランタンを眺めることができます。

【2】 LEDスカイランタンの運営段取り・タイムスケジュールについて

午前中から夕方にかけてはLEDスカイランタン打ち上げのための準備をします。
準備内容としては、スカイランタン組み立て及び受付用のテント設営・組み立て作業・ヘリウムガス充填作業・設定エリアのライン引きです。

《準備段階：朝～夕方まで》

- 10:30～11:00 作成場所のセッティング、スタッフ集合（※35名）
- 11:00～12:00 LEDと電池の結合、風船に入れる、和紙の切り込みに風船を差し込む作業
- 12:00～13:00 休憩
- 13:00～17:30 ヘリウムガス注入、重り結合（※35名）
- 17:30～18:00 受け渡し準備

////////////////////////////////////

夕方から夜にかけてはLEDスカイランタン打ち上げ本番に向けての準備をします。

- ①参加者は受付にて受付をおこないます。
《受付方法：事前にメールやLINEで送付した参加証を呈示～リストバンドを渡す》
- ②受付を済ませた方は、先に進み、テーブルで短冊に願い事やお祈りごとを記入します。
- ③記入後、先に進み、ヘリウムが充填されて浮かんでいる状態のスカイランタンを受け取ります。
- ④スカイランタンを受け取ったら集合時間に合わせて、指定されたエリアに集まります。

《本番直前：受付～打ち上げまで》

- 18:30～19:30 LEDスカイランタン受け渡し（※35名）
- 19:20～19:25 会場内随時消灯
- 19:30～20:30 LEDスカイランタンリリース
- 21:00 イベント終了～回収作業（※35名）

※各35名のスタッフを配置。各タイミングで各委員会2名ずつの手伝いを依頼します。
※LEDスカイランタンはヘリウムガス注入後、約7時間浮遊します。

添付資料：LEDスカイランタン運営段取り・タイムスケジュール

【3】 LEDスカイランタン仕様・打ち上げ手法について

今回使用するスカイランタンは通常の火で上げるタイプではなく、特別に開発された「LEDスカイランタン」です。四角柱の和紙の中に特殊仕様の風船が入っており、さらにその中にLEDが入っています。風船に充填されたヘリウムガスで浮かび上がり、火を使わないことから非常に安全に放球することができます。

■LDEスカイランタン/資材

・和紙

空に浮かび上がった時に優しい光になってくれる本体部分になります。

温かみ、懐かしさのあるザラツとしたテクスチャが魅力でもあり、傘がいらぬ程度の小雨ならリリース可能です。

・風船

和紙カバーの中に収められた特注サイズのゴム風船。この中にヘリウムガスを充填することにより、ランタンが空へ浮かび上がります。LED ライトもこの風船の中に挿入します。

・LED

LED はLight Emitting Diode の頭文字で「光る半導体」の略称です。

このLED ライトがスカイランタンの光源となります。

橙・赤・青・緑・ピンクのカラーバリエーションがあります。

・ボタン電池

・輪ゴム

・ヘリウムガス

添付資料：LEDスカイランタン資材・仕組み

■LDEスカイランタン/機体組み立てからガス充填の流れ

スカイランタンの機体を制作する事業者から、部品がセットになった制作キットが届きます。

この制作キットを事業当日の朝から夕方までに、当委員会メンバー及びお手伝い頂ける各委員会メンバー、組み立てを希望する参加者にお手伝い頂き組み立てます。

=====

①LED端子とボタン電池をセロテープで接着・LEDが光ることを確認

②①で作成したものを風船の中に入れる

③②で作成したLED入り風船をランタン紙の中に入れる

=====

組み立て時間：約1時間

組み立て人員：35名+α

組み立て場所：打ち上げ広場内・組み立て作業スペース

作業スペースでつくったスカイランタンの機体を1,500個作ると、次は風船へのヘリウムガスを充填し、糸付き重りを装着して準備完了です。

=====

④③で作成したもの中にある風船へヘリウムガスを充填

⑤①で作成したものを風船の中に入れる

③②で作成したLED入り風船をランタン紙の中に入れる

=====

添付資料：LEDスカイランタン組み立て・ガス充填方法

【4】参加者が身近な人への感謝を綴る『短冊』の運営方法について

スカイランタンイベントの参加者は18:00からの受付開始後、受付をした方から付近に設置した作業スペースで短冊へ**身近な人への感謝**を書き込みます。

短冊を書いたあとにヘリウムガスが充填されたLEDスカイランタンを受け取り、和紙部分に短冊を貼り付けます。その後、指定の時間まではスカイランタンを持ったまま会場内を自由に動かすことができます。

添付資料：LEDスカイランタン祈りの短冊イメージ

【5】当日の打ち上げ場所の図面イメージと参加人数×広さの計算について

舞鶴公園・三の丸広場の中央付近、約6,000㎡部分をスカイランタン打ち上げエリアとします。LEDスカイランタンを1つ打ち上げるために、糸が絡んだりせず綺麗に打ちあがった景色を見るためには、2m×2m（4㎡）のスペースが必要となります。今回、1,500個のLEDスカイランタンを打ち上げる予定のため、6,000㎡の広さを必要とします。

また、受付エリアとして受付場所・短冊記入場所・スカイランタン受け取り場所を設け、テントを設置します。

添付資料：LEDスカイランタン打ち上げエリアについて（レーザー演出なし）

【6】LEDスカイランタンの安全対策について

- ・雨天、強風の場合が傘がいらぬ程度の小雨なら打ち上げ可能です。
長く雨に濡れていると和紙が雨を吸って浮かなくなるため、雨の場合は屋内へ移動、日程変更、和紙をはいでバルーンでのリリースを検討します。
- ・風速8mを超える場合はスカイランタンの打ち上げは中止とします。
そのため、雨天中止、または延期の判断は、3日前の最終判断とします。
- ・糸をつけた場合の長さは10～20mで、糸はタコ糸を使用します。
風がある日は絡みやすいため、当日の天候を見て運営方法を判断します。
- ・風速が3mや5mなどの場合でも、糸が絡んで足や首に絡みつ়可能性がります。
参加者には十分な間隔を取っていただき、体感であっても風が強く危険と判断される場合は日程延期を検討します。
- ・打ち上げ時は公園の街燈や飲食店のライトも含めて消灯します
安全対策として投光器を準備し、歩行者などの安全性を確保します。

【7】LEDスカイランタンの回収方法について

今回のスカイランタンには糸と重りをつけており、どこかへ飛んでいかないような設計になっています。そのため、参加者の手で常に持ってもらい、動きをコントロールします。一斉打ち上げの時間を19:30～21:00とし、終了後はそれぞれ糸を引き寄せて回収します。各自回収したのちは、風船に切り込みを入れてヘリウムガスを抜き、所定のゴミステーションにてスカイランタンセットを捨ててもらいます。処分方法については、福岡市の分別方法に従っておこないます。

【8】当日までのスケジュールについて

- 3月～ : LEDスカイランタン打ち上げ法制面、許可申請面の検証・手続き関係の準備
- 5月上旬 : LEDスカイランタン運営シュミレーション
- 6月10日 : 舞鶴公園にてLEDスカイランタン打上げ予定
 (※事業開催日前までに事前テスト)

【9】手続き関係について

今後、打ち上げに際して法制面、申請関係で必要になるものは特にありません

【10】参加証の送付について

LEDスカイランタンの打ち上げに参加される方には、すべての関係者の方に特設サイト内に設ける応募フォームに入力して応募して頂きます。

応募を確認後、メールにて事務局より【参加証】を送付。

当日の集合時間や場所などは上記の【参加証】に記載します。

当日の受付時には参加証を提示して参加します。

【11】協力事業者：(株)スターリーナイトカンパニーについて

今回、本事業を進めているスターリーナイトカンパニー社は、自主イベントや請負イベントなど、数多くのスカイランタンイベントを実施している実績があります。

また事業実施まで運営シュミレーションに現地に来ていただいてサポートしていただきます。

添付資料：スターリーナイトカンパニー イベント実績「七夕スカイランタン祭り（2022年夏）」

添付資料：スターリーナイトカンパニー イベント実績「空飛ぶクリスマスツリー（2022年冬）」

【12】(株)スターリーナイトカンパニーのサポート面について

日本一の最大クラスのLEDスカイランタンを打ち上げる事業のため、当社には運営シュミレーションまで対応できる体制を整えてもらいます。

同社の本社は兵庫県神戸市ですが、出張費をサービス含めて予算に見込んでいます。

【13】LEDスカイランタンの参加申し込み方法（対象者限定）

《申込方法》

基本的には参加対象者のみが参加できるコンテンツとなります。

すべての対象者に応募フォームから申し込みをしてもらい、受付管理を行います

また、応募数に制限がある対象カテゴリの方々については、応募フォームより申し込んで頂きますが、応募多数の場合は【先着順】とします。

当選者には当選受付メールが、規定枚数を超えると落選メールが自動的に配信されるシステムを構築します。

【注意事項】

本応募フォームからはご家族・ご友人につき1組お申込み頂けますが、1人1回までの申込みとします。

同じ名前・メールアドレスでの重複申込やご家族での重複でお申込みされた場合は当選取り消しとなる場合があると明記します。

□参加申込締切日：2023年5月20日(月)

当選通知予定日はJCI福岡ホームページで告知し、当選者の連絡なしキャンセルをできる限り防ぐようにします。

□申込方法について

QRコードを用いてGoogleフォームに誘導し、申込を受け付けます。

・氏名（親子）

・メールアドレス

を記載していただき、後日集まった応募者の中から、打ち上げエリア記号を記した当選通知を登録いただいたメールアドレス

スにお送りします。

なお、個人情報の取り扱いには十分気をつけ、この目的以外には使用しない旨も記載します。

□年齢制限について

本事業は年齢制限を設けず、どなたでも参加いただけるように致します。
ただし、中学生以下の方は保護者同伴の元、ご来場いただくように致します。
また、6歳未満のお子様は保護者と同席とします。

応募に当たっては、保護者同伴の場合のみ、お子様のメールアドレス、電話番号の記載は必要ありません。

添付資料：LEDスカイランタン 参加応募フォーム

□当日の参加促進について

事前にメールでのお知らせ配信を1週間前、3日前、当日の3回行い、参加を促します。

◎検証

メインコンテンツであり大きな話題と集客を生んだが、親子合わせて1万人近い集客のオペレーションとなったため、事前準備に課題を残した

(◆反省点：◇改善点)

◆「当選していないとスカイランタンを見れない」と思いこんでいる人がいたため、複数申込の希望が余計に増えた。

◇認識のズレが起きる部分のピックアップが甘かった

◆スカイランタン打ち上げ時、二会場中央にある通路（柵）付近の安全対策が十分でなかった。

◇受付やヘリウムガス注入、受け渡しとは別に安全対策を事前に検討すべきだった

◆スカイランタンのキャンセル待ちにクレームがあった

◇事前にキャンセル待ちレーンをこちら主導でつくるべきだった

◆カウントダウンが聞こえなかった。

◇大濠公園側にも音響をセットできていたらよかった

◆ランタン揚げる直前は人が密集して、転んだりしたら危なかった。

◇誘導計画をもっと事前に詰めておくべきだった。

また誘導方法をサポートメンバーに丁寧に全体説明すべきであった

◆1500名もの当選者のメール確認における転送対策をやっておくべきだった。

◇結果、当日のオペレーションでカバーできたが、受付番号を振るなどでよりスムーズに対応できた。

◆ランタン打上げ時の誘導が出来ず、怪我をする恐れがあった。

◇マイクの個数を増やし、目印となるポイントを設けて誘導係に光るタスキを装着させて誘導をさせるべきだった。

また、ランタンと小さなパンフを渡しパンフに打上げ場所を明記する等して対策をする。

◆ランタン打上げ時間が、20時というのは小さな子供にとっては遅く、打ち上げてすぐに帰宅する方を多く見かけた。

◇日の入りが影響するので、子供連れの参加を考えると冬から春前の時期に実施した方がいいと思います。

◆ランタンの打上げ時間に遅れが生じ、クレームがあった。

◇天候やキャンセル対応による影響もあるが、場内スタッフに拡声器等の機器を持たせ案内をしていく。

◆スカイランタンの運営はイレギュラーも多く難しかったが、1度、運営を見に行けるタイミングがあれば行っておければよかった

◇台湾の実施もあったが、事前に見に行けそうなイベントはなかった

また、アンケート結果の主なコメントをポジティブ部分(□)と合わせて、ネガティブ部分(■)を中心に掲載する。

<ポジティブコメント>

- 雨の中でしたが、素晴らしい企画で子どもたちも大喜びでした。
途中で風船を割ってしまったのですが、運営の方がすぐに新しいものをくださいました。ありがとうございました。
- 初めてランタン打ち上げに参加しました。綺麗で幻想的で、娘もとても喜んでいて私も楽しかったです。
またこのような機会があれば参加したいです。

<ネガティブコメント>

- スカイランタンに参加するのが初めてだったので、スカイランタン(風船)を飛ばすのか?上げるだけなのか?
短冊に何を書くのか、説明がなく分からなかった。打ち上げのカウントダウンが全く聞こえなかった。
ランタンを持ち帰っている子を数人見かけた。持ち帰れない事も最初に説明があればよかったのに、と思った。
でもとてもきれいで楽しかった。子供も大満足でした。本当にありがとうございました。
- スカイランタンについての説明が不十分で、ひもをのぼして終了なのか、など最終的にはどうしたらいいのか分からなかった。
他の人のランタンと絡まり大変な事になった。スタッフにどうしたらいいか尋ねたが回答なかった。
- ランタンの打ち上げは紐が首に巻き付いたりすると危ないかも知らないと思いました。(すごく綺麗でした)
- 企画、運営は素晴らしいと感じたが、スカイランタンが思ったより飛ばず、紐が首元に来たりして危ない場面があった。
- スカイランタンに参加しましたが、会場のアナウンスがまったく聞こえず、いつ始まっていつ終われば良いかわからず、微妙な感じでした。

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（スカイランタン）

=====

- 反省点・ネガティブコメントへの改善点
 - ・ スカイランタンについては事前段階よりできる限り準備に時間を費やしたが、当委員会で誰も実際に見た経験がなかったため、細かな運営部分に影響が出た。
実際に見ることが難しければ、別で実施をしていた主催団体やLOMなどに電話ヒアリングを徹底するとよかった
 - ・ スカイランタン準備にかかる人数をもっと増やして、準備体制を3倍程度に増やして緻密に運営計画を立てるべきだった。

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（一般のお客様）

添付資料：【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（設営・撤去）

☆悪天候や新型コロナウイルスによる延期及び中止の対応☆

【基本方針】

事業当日、暴風雨などの悪天候や新型コロナウイルスの影響によって同会場での開催が困難な場合、本事業は延期または中止の措置を取ります。

事業の延期または中止の判断は、事業当日の【1週間前】に理事長・実行委員長・推進本部長の3者協議によってジャッジします。

延期の場合、すべてのコンテンツを翌週に持ち越しますが、飲食ブースに関しては出店者数や内容が出店者のスケジュールの問題で変更となる可能性があります。

■延期の場合の候補日程

2023年6月17日(土)・18日(日) ※空き状況確認済

本番日程と同様に延期日程も本申し込みをしています。

本番の1週間前に実施の決定した段階で、候補日のキャンセルをおこないます。

=====

各コンテンツのキャンセルポリシーについては以下の通りとなります。

【LEDスカイランタン キャンセルポリシー】

延期の場合、人件費や施工費は協力事業者の下記キャンセル規定が適用されます。

1週間前などなるべく早い判断お場合、そのまま延期日にスライドすることも可能です。

LEDスカイランタンや糸付き重りなどの商品に関しては、キャンセル・返金できません。

《施工スタッフキャンセル規定》

当方都合によるキャンセル・・・基本的にキャンセルは不可

不可抗力（天候、新型コロナウイルスによる影響等）によるキャンセル

イベント1週間前：お支払い予定金額の0%

イベント3日前：お支払い予定金額の30%

イベント1日前：お支払い予定金額の50%

イベント当日（現地）：お支払い予定金額の100%

【竹あかり キャンセルポリシー】

延期の場合はジャッジする日によってキャンセル費用が発生するため、添付資料のシミュレーションに記載されている内容となります。

【飲食ブース キャンセルポリシー】

中止の場合、1週間前にジャッジをするため、備品の手配関係のキャンセル費用は発生しません。

また、ICCO会とは業務委託ではなく協力開催のため、本番の1週間前に延期となっても、補填費用の負担などは発生しません。

【会場制作関係 キャンセルポリシー】

中止の場合、レンタル備品などについてはキャンセル費がかからないものがある一方、サイン制作など既に制作が始まっている

分については実費が発生します。

詳細については、下記の「開催中止の場合の事業収支シミュレーション」で参照ください。

【スカイランタン演出 キャンセルポリシー】

延期の場合、演出用機材費やプログラム費などについて、協力事業者の下記キャンセル規定が適用されます。

<顧客都合のキャンセル規定>

本番日から起算して21日前の午前10時までは50%

本番日から起算して7日前の午前10時までは80%

それ以降は100%

<悪天候によりキャンセル規定>

本番日から起算して7日前の午前10時まで発生するもの

・①レーザー機材（機材押さえ）25%

・③ラフプログラム費として25%

・⑥足場機材押さえとして 25%
本番日から起算して1日前までは全て100%発生

<翌日延期の場合>
キャンセル料は発生しません
翌日延期が中止になった場合キャンセル料100%発生

【舞鶴公園利用 キャンセルポリシー】

舞鶴公園のキャンセルポリシーでは、1週間前までのキャンセル申し出であれば会場費用は発生しません。
但し、設営を開始した時点で予定していた日時(設営撤去含めて4日間)の費用は発生します。

【一般参加者への対応について】

開催延期または中止となった場合は地域の小学生や一般参加者に対し、事前に登録していただいたメールアドレスに延期または中止の連絡をいたします。

【協賛企業・団体への対応について】

開催中止となった場合は、当日準備までに掛かった必要経費を差し引き、一部返金をいたします。
また、中止の判断を7日間前の場合、やむを得ず前日に判断した場合で、それぞれ返金ルール内容を設定します。
延期の場合は返金せずに、提供する協賛メリットを次回開催に引き継ぎます。

■協賛金の返金ルール

《本番7日前に中止判断となった場合》
ご協賛金額の30%をご返金させていただきます

《本番3日前に中止判断となった場合》
ご協賛金額の10%をご返金させていただきます

《本番1日前に中止判断となった場合》
ご協賛金額の返金はございません

添付資料：事業支出のキャンセル費シミュレーション

◎検証

・当初の予定通り本番1週間前に開催可否を検討し、
理事長・正副実行委員長及び推進本部長(委員長)の協議により実施判断をした。

☆収支(協賛獲得による収入増)について☆ 《※協賛資料一部修正》

【事業協賛による収入増策】

今回の事業は「0(ゼロ)周年」という節目の年の事業であるということに加えて、子どもを取り巻く地域コミュニティの希薄化という社会課題に対して解決の一助にもつながる事業にしたいと思っています。

その中身として、地域の小学生たちが一同に集い、みんなで遊べる縁日コンテンツを無料で提供することや、日本最大のLEDスカイランタンを一斉に打ち上げることで多くの感動を子どもたちに与えることができると考えており、その実現のために地域の子もたちや環境への取り組みへ賛同を頂き、シニアメンバーの諸先輩方や一般企業から協賛を募り実現を図っていきます。

【事業協賛 依頼先候補】

事業協賛の依頼先候補として、過去OBOGの先輩方や福岡に拠点を置く一般企業・団体を選定しています。これらの企業・団体に対しては事業協賛いただいた際には、下記記載の7点を特典として提供します。

【事業協賛料金】

金額は1社10,000円(税込)~1,000,000円(税込) ※特別協賛プランの金額は除く
[目標数：150社 目標金額：6,200,000円(税込)]

【事業協賛メリットの考え方】

- ・このイベントを通し、協賛企業様の文化支援そして地域でのブランド力向上に繋がります。地域で活動する企業として講師や一般来場者の方々に地域の街づくりを支える企業として認知されます。
- ・協賛企業の商品、商材を名前を多くの方に知ってもらう広告効果が狙えます。
- ・地域を支える企業としてイメージUPや認知度向上に繋がります。
- ・協賛企業の社員と家族への福利厚生の一環として利用いただけます。

添付資料：【ご提案書】 70周年事業協賛のお願い（一部プラン修正）

添付資料：協賛依頼状

添付資料：協賛御礼状

添付資料：協賛アタックリスト及びスケジュール

◎ 検証

<OB協賛獲得内訳>

アポイント	/	一般：12社	OB：97社	合計：109社			
訪問	/	一般：10社	OB：89社	合計：79社			
獲得	/	一般：4社	350,000円	OB：56社	4,420,000円	合計：60社	4,770,000円

添付資料：【報告】実施報告 協賛企業リスト

◆多くの協賛金を集める必要がある周年事業において、青年会議所の性質上、一般企業から集めにくい部分があったため（青年会議所と関わりが薄い分、企業側から費用対効果や柔軟なプラン変更を求められる）、

OBの企業中心の協賛金獲得となってしまった

→協賛ありきの事業であれば、初めから協賛企業のターゲットを絞り、企業がアピールしたいことに特化した協賛プランを作りこむ必要があった（環境問題、平和問題、エコなど）

◆OB中心のアタックとなってしまったため歴浅のメンバーの巻き込みが難しかった

→先輩から指定された日時で動けるメンバーの確保ができるような体制を考えるべき

◆協賛ボードの間違いや協賛企業名の掲載ミスがあった

→ロゴ回収、協賛金回収の段取りが悪く事前のチェックを十分に取ることができなかった。
もっとタイムスケジュールに余裕を持つべきだったが難しかった

◆協賛ボードが想定より小さく会場全体から見えるものになっていなかった

→メンバーの会社の協力の元、準備していたボードのデザインを変えて掲示した

☆効果検証☆

【事業の検証方法】

事業実施中に来場者アンケートを実施し、事業目的の検証を行います。

アンケート記入は会場に訪れている方々にひとりずつ声をかけ、案内シートでQRコードを読み込んでいただき、WEBで入力する方式のパターンで実施します。

また、退出後も帰宅途中に記入できるように、帰り間際に入口でQRコードを貼ったアンケート依頼カードを渡すようにします。

さらに、ステージコンテンツに参加頂いた方々にも、WEBアンケートよりご意見ご感想をお聞きします。

また、事業目的にある「外部団体との連携」について効果を検証するために、PTA協議会役員のご担当者にもアンケートを実施します。

添付資料：効果検証用アンケート（WEB）《JCI福岡現役メンバー用》

添付資料：効果検証用アンケート（WEB）《中央区PTA役員の方用》

添付資料：効果検証用アンケート（WEB）《一般参加者の方・JCI福岡OBの方用》

◎検証

<アンケート結果>

アンケート回収数：

444件（来場者数800名） 回収率：54.0%
【一般参加者】252件/1,400名中（回収率18.0%）
【PTA関係者】7件/12名中（回収率58.3%）
【LOMメンバー】185件/228名中（回収率81.1%）

アンケート依頼方法：

【一般参加者】【PTA関係者】【LOMメンバー】
後日、スカイランタン登録者へメールにてアンケート記入を依頼

添付資料：【報告】参加者向けアンケート結果・全体

■アンケート回収率について

回収率は58.0%と低かった。
事業当日は非常に多くの来場があったため、アンケート回収に人手を十分にかけることができなかった。

◆また、子ども用のアンケートボードは実施しなかった。

理由としては、発注したボードのサイズが想定よりも非常に小さく、子どもの来場者数が貼るシールのスペースがキャパシティを超えてしまったため。
想定サイズの現物を事前に確認しておくべきだった。

6. 広報計画の検証

【イベント前の広報/集客告知】

福岡市民、県民の方々に対し、プロジェクトの開催を広くPRし、福岡青年会議所がFUKUOKAの未来を担う子どもたちと連携した事業に参加してもらうこと、地域の方々や行政機関・外部団体との関係性をより強固なものにするために盛り上げる契機を創出します。

また、本年においても新型コロナウイルスによる影響があることを想定し、状況に臨機応変に対応し、正しい情報をスピーディに周知できるように計画します。

<対外>

①事業告知ビジュアルを制作

各種告知の発信ツールとしてイベント告知ビジュアルを制作

福岡青年会議所HPへの記事ページ掲載を広報渉外委員会へ依頼し、WEB管理会社と実施に向けて調整します。

添付資料：事前告知 A4チラシ（改定）

添付資料：事前告知 B2ポスター（改定）

(1)行政や各主要機関へのポスターの掲示の依頼をおこなうことで、SNS を使用していない世代に対しても広くPRします。

配布先には重点的に福岡市内を多くし、特に市民の方々に対して事業の開催と福岡青年会議所をPRする機会とします。

(2)連携するICOO会（イコー会）と連携して、出店する飲食店の店内にポスターを掲示していただき、参加推進を行います。

(3)ポスター内に掲載するQRコードについて、事業の特設HPではなく、JCI福岡のLINE公式アカウントの友達追加にリンクするものを掲載することで、興味を持っていただいた方に継続的に情報を届けることができるようにします。

②プレスリリースを作成し、各種メディアへの情報掲載を依頼

本事業の概要を網羅したメディア向けプレスリリースを作成。

テレビ局や新聞社などに対してリリースの持ち込み、配信などを通して情報掲載の依頼をかけます。

チラシは印刷せず、WEBメディアへのリリースを通じて拡散を図ります

③70周年特設HPにてイベント告知&募集を行います。（当委員会で設置済）

また、JCI福岡で運営する公式HP・SNS（Facebook/Instagram）での発信を広報委員会に依頼し、実施します。

(1)事業の認知度、集客力を上げるためバナーを作成し、LOMのHPに大会HPのリンクを掲載

(2)段階的に情報を解禁していくことで、HPを訪れるたびに新鮮な情報があることをアピール

お知らせ欄を追加し、どの情報がどのように更新されたのか、訪れた方にお伝えできるようにします。

(3)事業の開催および、本事業をどういった狙いでおこない、何をメッセージしたいのか、ご参加いただいた方に

どんなメリットがあるのかなどを訴求した内容を掲載し、詳細情報はLINE公式アカウントにて随時お伝えしていきます。

◆掲載期間◆2023年4月1日(土)～2024年2月11日(日)

④広く事業の周知を図るため、SNS広告を展開します。

Facebook広告及びInstagram広告を活用します。

両媒体はエリアや属性を絞ることができますが、老若男女含めた多くのユーザーが国内で利用しているの、こちらを選定致します。

エリア：福岡県 年齢：全年齢 属性：男女 セグメント：特になし

◆掲載期間◆2023年5月20日(土)～2023年6月11日(日)

添付資料：事前告知 SNS広告バナーbaner 600 500

添付資料：事前告知 SNS広告バナーbaner 1200 628

添付資料：広報計画・WEB広告プラン

<対内>

- ①理事会承認後、2023年3月度の委員会訪問を行いPRを実施します。
- ②事業告知ビジュアルを委員会訪問時にLOMメンバーのLINEへ展開します。
- ③JCI福岡ホームページ・LINE@
公式Facebook/Instagramでの広報を、広報渉外委員会に依頼し実施します。
- ④3月例会における広報・周知
例会委員会と連携し、3月度例会の各委員会報告時に本事業の詳細を入れ、JCメンバーに対しての“実施内容の早期周知”による参加の意識向上を図ります。
- ⑤4/11の70周年記念式典で記念誌を配布する際に、事業の案内ポスターを掲示します。

【イベント後の広報/ブランディング発信】

■当日の映像素材の活用方法について

当日の事業の様子を映像撮影・編集して、事業後にJCI福岡のYouTube公式チャンネルにアップロードして一般に公開します。
事後にコンテンツとして残すことで、JCはこれまで何をやったかを事業に参加していない方にも知ってもらい、覚えていただけます。
こんなことをやったという実績が映像で残ることでその後の事業構築や地域の方との関係づくりにもつながり、80周年に向けても後輩たちに向けても参考資料として伝えることができます。

添付資料：映像コンテンツ 構成絵コンテ

○プロジェクトダイジェストムービー

コンプライアンスチェック日：2023年7月10日(月)
※編集制作に当たっては中央区PTA協議会へ許可次第、1財政規則審査委員会へコンプライアンスチェックを依頼します。
公開日：2023年8月11日(金)

<対外>

- ①事業告知ビジュアルを制作
 - (1)行政や各主要機関へのポスターの掲示
 - (2)連携するICOO会（イコー会）と連携して、出店する飲食店の店内にポスターを掲示
 - (3)ポスター内に掲載するQRコードについて、事業の特設HPではなく、JCI福岡のLINE公式アカウントの友達追加にリンク

◎検証

協力団体である福岡市中央区PTA協議会のご厚意で、各PTA協議会内及び校長先生の許可が取れた中央区10の小学校（4,021名）に対して告知メール「あんしんメール」を送信した。
アンケート結果の「認知経路」では「小学校・PTAからの案内」が最も多く、集客に寄与した。
※残念ながら校長先生の許可が降りずに実施できなかった学校が2校あった

ICOO会では、出店する飲食店14店舗にて店内にポスター掲示及びチラシ配布をしていただき参加促進ができた

添付資料：【報告】《写真キャプチャ》PTA案内メール「あんしんメール」

=====

②プレスリリースを作成し、各種メディアへの情報掲載を依頼

◎検証

当日取材は、RKB毎日放送が取材に来ていただき、6月11日（日）朝に前日の開催模様及び日曜日の告知をテレビで放送していただいた。

また、ファミリー向けお出かけ情報のインフルエンサーで7.9万人のフォロワーを持つ「ルミルミ」氏にメンバーを通して依頼したところ、無料で情報を提供してくれることになり集客に繋がった

<事前メディア告知>

- ・6月5日(月) Instagram「ルミルミ（フォロワー7.9万人）」イベント告知
- ・6月6日(火)昼 RKBテレビ「タダイマ！」出演告知
- ・同日 RKBラジオ「さえのわっふる」出演告知
- ・同日 EXPG STUDIO FUKUOKA「公式ホームページ」イベント告知
- ・6月7日(水)昼 KBCテレビ「Wish+」イベント告知告知
- ・6月9日(金)朝 RKBテレビ「金曜ビッグバン！」イベント告知

<事後メディア取材実績>

- ・6月11日(日)朝 RKBテレビ「サンデーウォッチ」開催模様及び告知

◆メディア取材獲得の経緯

周年事業の計画段階だった2022年11月頃に、OBであるRKB毎日放送の現・番組プロデューサーである堀江先輩を訪問。「テレビ番組などで、事業前告知だけでなく、JCの周年事業を踏襲として取り上げてもらうにはどんなポイントがあるか？」などをヒアリングし、以下のアドバイスを頂いた。

- ①JCの周年そのものに視聴者は興味はなく、ニュース価値も薄い。
「地域を巻き込んで、街や市民のために〇〇を実現した」ということにニュース価値がある。
- ②「初めて」や「最大級の」という内容はニュース価値として刺さりやすい。
- ③場所や企画に対する背景やストーリーが必要

以上を踏まえて計画概要を企画書に落とし込み、番組プロデューサーの立場として堀江先輩にプレゼンをおこない、取材OKの許諾を得ることができた。

告知枠(30～60秒程度)は獲得できても、番組取材(6～7分程度)を勝ち取るのは上記のポイントが必要なため、今後の参考ポイントとして残しておく。

添付資料：【報告】《写真キャブチャ》テレビ番組出演時・RKB「タダイマ！」

添付資料：【報告】《写真キャブチャ》Instagram「ルミルミ（フォロワー7.9万人）」

添付資料：【報告】《写真キャブチャ》テレビ番組出演時・RKB「サンデーウォッチ」

③70周年特設HPにてイベント告知&募集の実施

JCI福岡で運営する公式HP・SNS（Facebook/Instagram）での発信

◎検証

事前告知は、情報発信の受け皿として特設HPを制作し、在福放送局3社（FBS・KBC・RKB）へ告知及び取材依頼、インフルエンサーへ告知依頼、JCI福岡公式facebookでの情報発信、facebook広告（有料）などを中心に、極力費用をかけずにPR活動を展開した。

添付資料：【報告】《写真キャブチャ》公式Facebook・Instagramでの発信

④広く事業の周知を図るため、SNS広告を展開します。

◎検証

5月31日から6月10日にかけて、Facebook/Instagram広告を実施したInstagramの反響が良く、予算の大半をInstagramに振り分けた予算100,000円に対して特設HPへのアクセス増と来場へ繋がった

《Instagram》 リーチ数/84,768 インプレッション数/147,356 クリック数/4,357
《Facebook》 リーチ数/15,428 インプレッション数/48,907 クリック数/65

添付資料：【報告】SNS広告レポート Facebook&Instagram広告掲出 230531~0610

■プロジェクトダイジェストムービーについて（不履行）

事業当日に撮影をし、第1稿編集までしていたが、委託していた映像制作会社ディレクターが不慮の事故により、映像制作の継続が困難となったため、不履行として取り下げました。

7. 安全対策の検証

【天候災害対策】

イベントは主催者と協議の上、中止可否を決定します。

ただし、下記のような悪天候により事業実施が困難である場合は、事業を中止します。

- ・大雨注意報が発令された場合（1時間降雨量が20mm以上）
- ・雷注意報が発令された場合（落雷による被害が想定される）

また風8mを超えた場合はスカイランタン打ち上げは中止とします。

小雨が降っている場合は客席テントを準備します。

（検証）

当日の風速は安全に打ち上げが行える範囲内に収まっており、事前に雨天対策用のテントの準備もできた。

【LEDスカイランタン打ち上げの安全対策】

- ・スカイランタンの運営と本機の作成は、これまで1,500個クラスのLEDスカイランタンイベントを成功させてきた、スターリーカンパニー社と運営内容を詰めています。
- ・安全性が高いLEDを使用し、発火の恐れがないLED電池を使用します。
- ・打ち上げたスカイランタン同士の糸が絡むことは十分予想され、風の具合で絡まること自体は前提として運営をしますが、それによって来場者の方への安全面に支障をきたすことはありません。
- ・雨天、強風の場合が傘がいらぬ程度の小雨なら打ち上げ可能ですので、天候を見極めながら実施判断をします。
- ・風速8mを超える場合は打ち上げ自体が困難なため、スカイランタンの打ち上げは中止とします。そのため、雨天中止、または延期の判断は、7日前の最終判断とします。
- ・風速が3mや5mなどの場合でも、糸が絡んで足や首に絡みつくと可能性があります。参加者には十分な間隔を取っていただき、注意事項は受付時とステージ上で間断なくアナウンスをするようにします。

（検証）

ケガやトラブル報告はなかったが、スカイランタン同士の糸の絡まりや人員誘導・注意喚起など、会場に対するアナウンスがスピーカーの音量制限のため来場者全員へ十分に聞こえる形で行うことができなかった。

今後の対策としては公園のルールを守りつつ、スピーカーの増設やハンドスピーカーの活用が必要である。

【飲食ブースの衛生管理対策】

- ・飲食ブースの運営は食中毒発生などの恐れがないように、大規模な飲食イベント運営経験がある「ICOO会」に飲食店舗への指導・取りまとめを依頼します。行政指導に則った営業許可や届け出の手配をします。また、PTA協議会で出店する飲食ブースは、PTAのほうで保健所の営業居や届け出を手配していただきます。PTAには飲食ブースの衛生管理を熟知しているイベント会社が準備段階からサポートします。
- ・但し、当会から主催者として飲食ブース担当者を1名配置し、会場全体の衛生管理を適切におこない、

出店者の統括や衛生的な食品の取り扱いを管理します。

- ・上記と合わせて、外部委託として飲食イベント豊富なイベントディレクターと契約し、飲食イベントに関わる運営面や衛生管理面を委託します。
- ・店舗で提供できる料理は以下の通りです（福岡県基準）
 - 簡易な調理加工により提供できる食品で、提供する直前に十分に加熱されたもの
 - 単に注ぎ分けて提供できる酒類
 - コーヒー、紅茶等の飲物
 - （簡易な調理加工により提供できる飲物で、提供する直前に十分に加熱されたもの及び清涼飲料水を単に注ぎ分けたもの。）
 - アイスクリーム類（小分け販売に限る。）
 - 殺菌液状ミックスを原料として製造するソフトクリーム

（検証）

ICOO会は団体として保健所へ対応をしてもらい、PTAの飲食ブースでは飲食店経営をしている現役メンバーを中心に事前監督をおこない、

十分な対策と配慮をおこなった

【新型コロナウイルス対策】

多数の参加者を迎える本事業イベントのため、来場者の感染防止の下記対応を行います。

- ・当日発熱がある方は入場をお断りいたします。
- ・来場者のマスク着用を徹底し、マスクを着用されていない方は入場をお断りいたします。

【体調不良者対策】

- ・開催中および準備中に体調不良の方が出た場合、至急119番通報します。
- ・応急処置ができるようAEDの設置を行います。

（検証）

AEDの準備ができておらず、急遽、メンバーの会社から貸していただいた

【緊急時の医療機関について】

開催中および準備中に体調不良の方が出た場合、スタッフが速やかに適切な処置を実施した上で最寄りの医療機関に救急搬送の手配を行います。

医療機関：国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
所在地：福岡市中央区長浜3丁目3-1
電話：092-721-0831

安全対策責任者：70周年実行委員会 推進本部長 田原義也 / 総括幹事 村津万里

8. 工夫点及び波及効果の検証

【工夫点】

○地域の課題解決のため、中央区のPTA会長で組織化されている『中央区PTA協議』と連携して事業を構築すること。

（検証）

**『中央区PTA協議会』と連携した事業構築ができた。
結果大きな集客効果を生むことができ、福岡青年会議所のブランディングができた**

○60周年の博多川イルミネーション事業を、10年の時を経て受け継いだというストーリーを加味したこと。

（検証）

60周年を覚えている先輩から60周年にまつわるエピソードをお伺いするきっかけになった。

○地域の課題（お祭りを通したつながり）と福岡青年会議所70周年記念の事業目的をつなげ、大人も子どもを始め多くの事業対象者が興味を持ちやすいように、1,500個のスカイランタンという参加をイメージしやすい内容にしてとっかかりやすさをつくったこと。

（検証）

北九州やハウステンボスなど近隣エリアでの開催実績や予定もあり、スカイランタンに対する認知度は高かったと言える。無料で開催は前例も少なく大変好評をいただきました。一般の方々の集客効果は大きかったと言える。

○莫大な費用が掛かる飲食コンテンツを、出店・運営・費用負担を外部団体に委託することで、事業の規模感を出しながら重要な部分の運営に注力できる体制をつくったこと。

(検証)

飲食ブースをICOO会に協力してもらうことで費用面を約160万削減することができた。

本来であれば売上や出店料で埋めなければならない費用に対する労力の削減にも繋がった。

【波及効果】

○子どもを取り巻く地域コミュニティを活性化させる事業が市民の手で行われるきっかけになること。

(検証)

中央区PTA協議会から来年以降の開催方法のヒアリングがありました。過去に区ごとのお祭りの開催実績はなかったが、今回の事業で作った各小学校との連携・関係性を継続したいとのことでした。十分なきっかけを福岡青年会議所が作る事ができた

○事業に参加した市民がFUKUOKAのこれからのまちづくりの在り方を考えるきっかけになること。

(検証)

中央区PTA協議会へ福岡青年会議所の手法を落とし込むことができたことで今後のまちづくりのきっかけの一つになったと言える

○他団体とのこれから先の連携や拡大のきっかけが生み出せること。

(検証)

ICOO会などの初めて連携をする外部団体をでた実績が今後の事業の在り方を考えるきっかけになり得ると考える。またPTA協議会からは引き続き福岡JCの事業の情報などを教えてほしいと連絡があり、今後も続く関係性をつくる事ができた

○80周年へ向けた福岡青年会議所の活動に対してのまちからの理解、協力体制が強固なものになること。

(検証)

飲今回の事業で築いたPTA協議会との関係性の継続で、今後の福岡青年会議所の事業に対する認知度、参加率、協力体制を作っていける土壌をつくる事ができた

○人々がまちの魅力を感じることで郷土愛が生まれ、心豊かな社会が築き上げられていくこと。

(検証)

まちの魅力を発信するような事業にはなりませんでした。地域を巻き込んだ設営やステージパフォーマンスで地域を盛り上げる事ができた

○中央区の小学生たちとつくりあげたスカイランタン&竹灯籠イベントが、今後、舞鶴公園の新たな定期イベントとして続いていく可能性を残していくこと。

(検証)

定期イベントとして続いていく可能性を作ることができた

9. 理事長所信実現の検証

【理事長所信】

■ 立ち止まらず、進み続ける

1953年2月4日、全国で35番目のLOMとしてJCI福岡が設立し本年度で70周年を迎えます。～中略～

私たちJCは、ひとづくりを通して未来のまちを創っていく団体です。その未来をつくるために何をすべきでしょうか。

私は過去を知り、今を理解し、今しかできないことを考え、行動に移す者にしか未来をつくることはできないと考えます。今の時代、立ち止まるのがリスクとなるでしょう。だからこそ、どんな時も立ち止まらず、進み続けてきたJCが次代のために何をすべきか。過去に囚われ過ぎず未来に夢と想いをのせ、立ち止まらず、行動し続けていきたいと思います。

・・・70周年という節目の年に、60周年からこの10年間のLOMの過去の歴史や現在の街の課題などを調査研究することで、次の80周年に繋がる事業を構築するために行動し続けることが理事長所信につながります。

■FUKUOKAをバックアップする

今、私たちが住み暮す福岡はどんな都市でしょうか。～中略～

官民連携や官民共創がささやかれる今だからこそ、行政が見えない部分や動けないことこそが、私たちJCがすべきことだと考えます。

足を使い課題解決に向けた働きこそが未来を発展させることにつながるでしょう。

そしてそれは、JCだけですべきことではないと考えます。他団体、行政、民間企業と一緒に、JCとして新たな関わりを増やしていくことでより良い波及効果につながります。

共に活動するための連携、関係構築こそが、FUKUOKAにとって最大のバックアップとなるでしょう。

- ・・・福岡青年会議所が地域とのネットワークを活かして、市民や民間企業へ変革の起点となり、より良い波及効果につなげていくことが理事長所信につながります。

◎検証

- 理事長所信にある「過去を知り、今を理解し、」の部分に沿い、まずは記念誌作成の過程において多くの先輩方を訪問し、当時のLOMの状況や考え方、また現在の青年会議所があるべき姿などのお考えなどをお聞きしました。

さらに、当時の60周年実行委員会の先輩方との交流を通じて、当時の周年事業「HAKATA SAKURA」に至った考えや内容を70周年の事業にも引き継がせ、「地域の方々を巻き込み、光の演出で福岡のまちにこれまでにない風景・景色をつくる」事業内容で過去から現在へ繋げながら、現在の私たちにしかできない事業を構築することができた

- 同じく、「他団体、行政、民間企業と一緒に、JCとして新たな関わりを増やしていく」という部分では、中央区PTA協議会及び飲食事業者団体ICOO会と連携して事業構築取り組むことで、福岡青年会議所単体ではできない規模や内容の事業にすることができた。また、PTA協議会からは、我々との協業を通して手法や巻き込み力などの部分で多くの学びを得たとコメントをもらい、JCビジョンにある「能動的市民のネットワークになる」ことができたと考える。

10. 事業終了までの行動計画

こちら

- 10- 事業終了までの行動計画に関する検証
- 1.

◎検証

<反省点>

- ・規模の大きさに対して、事前準備に係る人員を十分にまとめきれずスケジュール通りいかない部分があった

11. 事業当日の運営マニュアル

こちら

- 11- 事業当日の運営マニュアルに関する検証
- 1.

◎検証

審議可決後、早い段階から役割分担の見直しを実施し、実勢に沿った運営マニュアルを作成した。

委員会メンバー、お手伝いいただいたLOMメンバー、出演者、会場スタッフの方々など、

運営マニュアルを見れば動けるレベルまで仕上げたが、配布がギリギリになってしまいうまく運用できなかった。

12. コンプライアンスに関する事項

コンプライアンスチェックシートへの記入

12- コンプライアンスに関する検証

1. 特になし

13. 前年度からの引継ぎ事項

特になし。

13- 前年度からの引継ぎ事項の検証

1. 特になし

13- 次年度への引継ぎ事項

2. ◎検証

<組織図について>

・前年から引き継ぎされた実行委員会のみではそれぞれ本年度はバラバラの所務を抱えるためロム全体の巻き込みが非常に難しい。

各委員会に実行委員会メンバーを割り当てる。など組織図を組み立てる段階で工夫が必要である。

<運営全体に関して>

・上記の各コンテンツの検証通り、事前の準備不足などが主な要因で追いつかない部分が多かったため、準備に係る人員確保は重要なポイントとなる。

<広報について>

・限られた予算の中でお金をかけて集客の導線を引くのにも限界があるなかで新たな集客の手法の可能性を感じる事ができた。

他団体の巻き込みやまちの情報発信を行っているインフルエンサーの活用など予算をかけずとも事業の情報を発信する手法はまだまだあるように感じる。

<事業計画について>

・周年のような大規模な事業を行うにあたりアクセスや費用など様々な選定理由が挙げられるが、まず第一に会場の使用条件などを元にシュミレーションを行うべき。

今回引き返せないタイミングでの音の問題は事業全体の来場者の満足度を大きく落とした結果となり事故にも繋がりがねなかった。

・事業構築にあたり0周年という大きなきっかけに対外に何をどう発信するかは1委員会で方向性を定めるにはハードルが高いように感じた。

執行部含めLOMとしての方向性を示した上で事業構築に進めるべきだと考える。

・記念事業、記念式典の予算を計画段階でしっかりと定めるべき。式典の規模感次第で事業予算を考えるようでは計画が遅れる、または方向性が定まらない。

実際に計画後に予算が固まり協賛収入に大きく頼る形となった。LOMとして、式典も盛大に執り行いたいのであればリアルな来場者収入をもとに予算をはじめから組むべき。

14. 討議・協議のポイント

◎70周年記念事業にふさわしく、JC運動の根幹に資する事業であるか

15. 特記事項

《6月理事会上程：再審議内容まとめ》

○修正収支計画（減額）案について【光の演出削除】

- 発注先：スターリーナイトカンパニーが前金払いのため請求書を添付・是非について
- ステージコンテンツ「EXPG STUDIO FUKUOKA」との出演契約書内容について
- 協賛資料の一部改定内容について【内容変更】
- 告知物（A4・B2）の一部改訂について【出展者ロゴ変更】

16. 委員長所見

【委員長所見】

70周年記念事業開催にあたり、多くの皆様にたくさんのご協力をいただきました。
事業計画から準備、開催にあたるまで当委員会のメンバーだけでは決して開催することはできませんでした。
そしてたくさんのOBの方々の支えを通して改めて福岡青年会議所の歴史の偉大さ、強さの理由の根幹にも触れた気がします。

単年度制を主とした福岡青年会議所において計画から報告まで2年間を擁した当委員会の事業となりましたが思う節は
多々ございました。
生意気ではありますが、次の80周年が開催されるときの参考になればという想いを込めて、私の委員長所見として形に
残せればと思います。

まず【周年事業】をどういったものとして開催するのかという根っこの部分は福岡青年会議所がLOMとして方向性を
早い段階で固めておくべきではなかったかと感じます。
そうすることで、式典・事業を通した予算組みも早い段階で進むのではないのでしょうか。
私自身も「周年とは？」といった部分で行き詰まり、審議をいただくまで多くの時間を要してしまいました。
通常の事業と違うテーマがあるからこそ委員会単位ではなくLOMとしての方向性が重要であるように感じました。

また式典も含め周年は対外やOBの先輩方との絡みも多くありますので人事の在り方、2年目への引き継ぎの仕方も
検討が必要であるようにも感じました。
実行委員会へとスライドする中で執行部を含めた組織の再編成や、2年目の委員長と並行させていくべきなのかなども
前年度段階で検討してもいい内容かと思えます。

0周年は予算規模も大きくまちや関係各所へ福岡青年会議所が団体としての在り方や感謝を伝えることができる
大きなきっかけとなるからこそLOMとしての捉え方が重要であると感じました。

最後に現役、OB問わず多くの皆様のご理解、ご協力をいただきましたこと、地域の皆様や関係団体の皆様と
事業を作ることができたことに深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

過去の議案の流れ

8月度 財政規則審査委員会(臨時)

質問：指摘事項はクリアされているか？

回答：すべて対応完了し、添付しています

8月度 常任理事会

質問：検討事項について改善点の補足は大丈夫か？

回答：対応完了しています。

質問：子供用アンケートボード未実施の理由はなんですか？

回答：納品されたサイズが想定より小さかったため、実施不備だったためです。

8月度 理事会

質問 : 近年まれに見る集客数でしたが、広報において議案記載の補足ポイントあれば教えてください

今回予測できていなかった広報効果で大きなプラスとなったのは、「PTAみまもりメール」でした。校長先生とPTAが

回答 : 承認した内容のみ配信できる連絡メールで、全校生徒に配信されます。Web申し込みが必要なイベントはメールにURLが記載されていたほうがチラシQRよりも申込率が上がるので最も有効だったと考えています

質問 : PTA協議会から来年も続けてほしいとの声はあったか？

回答 : 具体的には出ていませんが、持続可能なビジネスモデルが組めれば民間事業者ができるのではないかなどのお話はしています

質問 : 委員長所見の補足コメントに次の80周年に向けたコメントがあるが補足をお願いします

回答 : 10年に一度にふさわしい規模感、予算感の事業拘置うにおいて、メンバーが周年事業の意味合いを理解するために、LOMとしての方向性を踏まえ、執行部で検討し委員会で巻き込むという流れが必要だと思えます

資料

審議対象資料

1.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 0.まとめ.pdf
2.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子.pdf
3.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 6.本日のイベントを通して満足度を教えてください（一般参加者向け）.pdf
4.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 3.PTA協議会との一体感を感じられたか？（一般参加者向け）.pdf
5.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 2.PTA協議会との一体感を感じられたか？（PTA向け）.pdf
6.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 5.「0周年」の在り方を考える機会になりましたか？（LOMメンバー向け一般参加者向け）.pdf
7.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 4.記念事業を実施する意義を実感できましたか？（LOMメンバー向け一般参加者向け）.pdf
8.	添付資料 【報告】参加者アンケート結果 1.街への感謝を感じることができたか.pdf
9.	添付資料 【報告】《写真キャブチャ》公式Facebook・Instagramでの発信.pdf
10.	添付資料 【報告】《写真キャブチャ》Instagram「ルミルミ（フォロワー7.9万人）」.pdf
11.	添付資料 【報告】《写真キャブチャ》テレビ番組出演時・RKB「サンデーウォッチ」.pdf
12.	添付資料 【報告】《写真キャブチャ》テレビ番組出演時・RKB「タダイマ！」.pdf
13.	添付資料 【報告】《写真キャブチャ》ICOO会店舗ポスター掲示.pdf
14.	添付資料 【報告】《写真キャブチャ》PTA案内メール「あんしんメール」.pdf
15.	添付資料 【報告】SNS広告レポート Facebook&Instagram広告掲出 230531~0610.pdf
16.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（設営・撤去）.pdf
17.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（一般のお客様の様子）.pdf
18.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（竹灯籠アート）.pdf
19.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（飲食フードコート）.pdf
20.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（縁日コンテンツ）.pdf
21.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（カウントダウンステージ（カウントダウン・アーティストライブ））.pdf
22.	添付資料 【報告】実施モニタ写真 イベント本番の様子（スカイランタン準備・一斉打ち上げ）.pdf

23.	<u>添付資料④ 【0609】 設営当日用 運営マニュアル (抜粋) .pdf</u>
24.	<u>財政規則審査委員会 指摘リスト (8月度) 70周年.pdf</u>
25.	<u>【報告】 実施報告 協賛企業リスト.pdf</u>